




**PICTET**  
 1805

# Pictet Mirai Project

ピクテ・ミライ・プロジェクト

220年の歴史を持つピクテ・グループは、経営理念の中枢にある「サステナビリティ」のもと、さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、日本のサステナブルな未来に貢献する取組みです。ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、46道府県<sup>※</sup>の地域再生計画に基づく事業に寄付します。

当プロジェクトの主な寄付のテーマ



自然環境



教育



栄養



福祉



防災・復興



注:ピクテ・ジャパン(以下、当社)の本社所在地である東京都を除く46道府県 ※原則として、当社が受取る収益(信託報酬)の一部を、各金融機関における対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて、当該金融機関の本社所在地(道府県)に寄付します。また、本社所在地が東京都の金融機関における上記取扱い純資産総額に応じた分は、46道府県に均等配分し寄付します。2025年は約5,430万円の寄付を行います。※状況等により、上記の方針通りに寄付が行われない場合もあります。※2025年9月時点。将来見直しを行う可能性があります。

2025年度  
寄付先事業例

奈良県



## 新たな森林環境管理制度の推進 (県営林における混交林誘導整備事業の実施)

奈良県では、スギ・ヒノキの施業放置林において伐採と多種多様な樹木の植栽を行うことで、針葉樹と広葉樹が混じり合った森林(針広混交林)へ誘導する「混交林誘導整備事業」を進めている。県営林において「混交林誘導整備事業」をモデル的に実施し、針広混交林への誘導を促進するとともに、伐採により発生した木材をバイオマス発電施設に供給し、脱炭素社会の構築に貢献する。

### 寄付先事業例のイメージ



針広混交林イメージ



県営林事業地



森林作業道(県)

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

対象ファンド等の詳細は、  
こちらをご覧ください。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドのお取扱いが全国各地に広がり、ピクテ・ミライ・プロジェクトによる寄付を続けられていることを心より感謝申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

